

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	61人

1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部1年生 26名
使用頻度	5月、6月は週3から4回 他の時期は音楽の授業(週1回)で内容に応じて
使用状況	<p>生活単元学習「駿光祭(文化祭)のステージ発表に向けて」の学習と、音楽の授業において、週3から4回のペースで使用している。</p> <p>その他、週1回の音楽の授業で合奏の単元を行う際に使用している。</p>
物品の使用による変化や効果 ※ 1年目との違いを含めご記入ください。	<p>本校で使用しているトーンチャイムは、劣化や破損しているものを補修し使用していたため、寄贈していただいたトーンチャイムを使用することで、生徒達が破損してしまわないか等、心配することなく学習や演奏に集中して取り組む様子が見られた。また、昨年度より生徒数が増えたが、演奏する曲や生徒一人一人が担当する楽器の本数を気にすることなく取り組むことができた。さらに、楽器を大切にする気持ちを育む良い機会となった。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>毎年、文化祭において高等部1年生によるトーンチャイムの演奏を行っており、来年度以降も引き続き活用する予定である。また、音階の幅も広がったため、曲の選択肢や生徒一人が担当する音も増え、目的を達成している。</p>
その他 希望や所感など	<p>生徒達が新品の楽器を使用することができ、喜んでいる姿が見られた。生徒、職員共に、寄贈していただき、感謝している。</p>

2. 活用の様子



【本番前の意気込み】

- ・自分たちの演奏で少しでも多くの方が勇気をもらえたり、元気になってくれたりしたらいいなと思う。
- ・感動を与えられるような演奏をしたい。
- ・指揮者をよく見てみんなと息を合わせて音がずれないようにしたい。
- ・本番までに強弱をつけてよい発表にしたい。
- ・聴く人たちに最高の音を響かせて26人みんなが楽しかったと笑顔になるような1日になるようにしたい。
- ・きれいな音をみんなに届けたい。
- ・緊張を少しほぐして間違えても焦らず、みんなできれいな演奏をして「良いステージ発表だった」と思えるように頑張りたい。

【ステージ発表後の感想】

- ・みんなと息を合わせて、ミスしても止まらず最後までやり切った。
- ・初めての大舞台でうまくできるか不安だったが、最後まであきらめずにやり遂げることができた。
- ・最初は失敗があったが、練習をやっていくにつれて間違えることがなくなり、本番には失敗せず演奏できた。
- ・最初の練習では不安だったが、本番に近づくにつれてみんな集中力がすごくて音がそろってきたのが良かった。
- ・本番では、とてもきれいに遠くまで音を響かせることができて良かった。
- ・お客様に最高だったと言われ、良い演奏を届けることができて良かった。